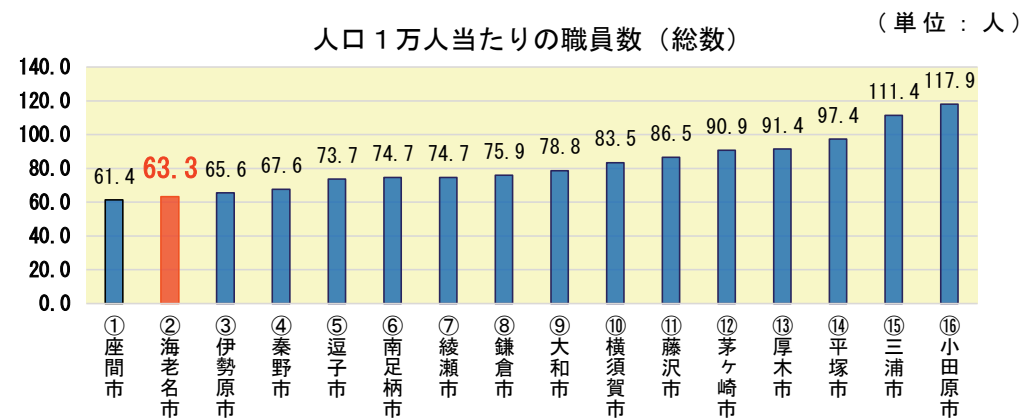


えびなみらい定員管理計画概要版

- ① 前計画**
- ① 計画：定員860人 正規職員820人
 - ② 結果：定員831人 正規職員808人（R4.4現在）
 - ③ 内訳：正規808人＋再任用31人＋任期付19人＝858人－定数外27人＝定員831人
 - ④ 主な要因（再任用及び任期付職員数が伸び悩んだこと。）

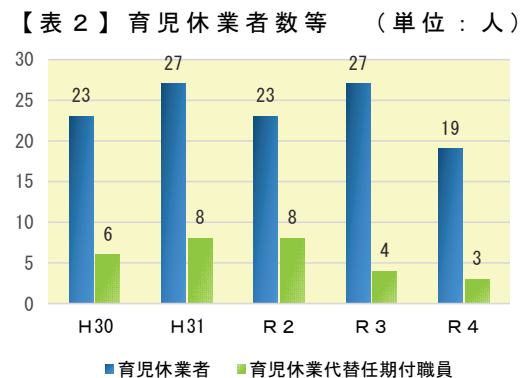
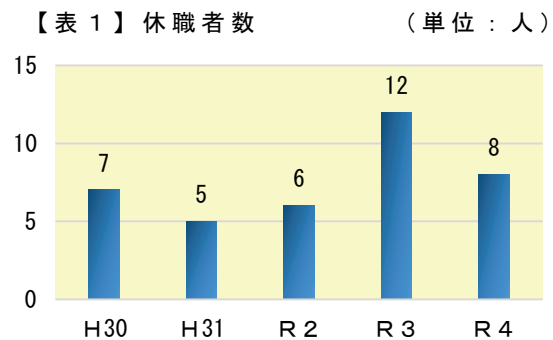
定員管理の現状を分析

- ② 現状の分析**
- ① 人口1万人当たりの職員数は63.3人で、県内2位（最新：R3年調査時点）
 - ② 定員管理診断表の診断では、少ない職員数（最新：R3年調査時点）
- ↑民間委託、指定管理者制度の活用等を含めた取組の結果だが今後は増員が必要



今後の定員管理を行う上での課題を抽出

- ③ 定員管理の課題**
- ① 人口ビジョンを上回る人口増 ⇒ 特にR4年度の人口増加が顕著。
 - ② 定年引上げと採用人数 ⇒ 退職が2年に1度になり採用平準化が必要。
※定年退職予定者（R4年度16名、R6年度17名）再任用フル継続は6割程度。
 - ③ 消防力強化・維持の体制づくり ⇒ 消防職員数の「増」が必要。
 - ④ 技能労務職（戸別収集体制の維持）⇒ 自動車運転士の採用計画の見直し。
 - ⑤ 休職者・休業者が年度当初平均31.4人 ⇒ 実勤務職員の確保。
・休職者（年度当初平均7.6人） ⇒ 今後も継続的な把握が必要。
・育児休業（年度当初平均23.8） ⇒ 今後も取得向上の取組みが進む想定。



【策定の理由・趣旨】

- ① 『海老名市定員管理計画2020』の計画期間の満了
- ② 『えびな 未来創造プラン2020』の計画期間を踏まえて策定
- ③ 『持続可能な開発目標SDGs』への関連を踏まえて策定

新たな定員管理計画

1 計画期間

- (1) 計画期間は、「令和5年4月1日～令和8年3月31日」とします。
- (2) 計画期間内において計画の見直しが必要となった際は、適宜見直します。

2 目標

区分	R4.4.1	R5.4.1※3	R6.4.1	R7.4.1※3	R8.3.31	増員数
職員数（総数）	858人	20人程度増員	28人程度増員	20人程度増員	926人	68人
※1 定員	831(860)人	10人程度増員	15人程度増員	10人程度増員	895人	35人
正規職員	808(820)人	15人程度増員	27人程度増員	15人程度増員	865人	57人

- ※1 職員数（総数）は、定員及び正規職員の目標を達成するための、参考値とします。
- ※2 () 内の数値は、前計画の目標値で、定員の増員数は前計画値からの差とします。
- ※3 は定年退職者が発生した直後の4月1日です。

(1) **職員数（総数）**については、一般職の常時勤務を要する職（フルタイム）の職員（地方公共団体定員管理調査の対象となる数値で参考値）とします。

(2) **定員の対象職員**については、定数条例の定数の対象となる職員とします。

- ① 市民サービスの維持・向上に必要な**定員**……人口1万人当たり63人（前計画の市民1万人当たりの定員の目標を参考）（前計画値維持）
- ② 消防力維持・強化に必要な**定員**……199人
- ③ 休職・休業に対応するための体制づくりに必要となる職員数…31人（管理基準）

(3) **正規職員**については、職員数（総数）からフルタイム勤務の任期付職員及び再任用職員（定年引上げ後の暫定再任用職員）を除いた職員とします。

- ① 市民サービスの維持・向上等に必要な**正規職員**…人口1万人当たり61人（前計画の市民1万人当たりの正規職員数の目標を踏まえつつフルタイム勤務の任期付職員及び再任用職員（定年引上げ後の暫定再任用職員）の数値が伸び悩んだことを踏まえた増）
- ② 消防力強化・維持に必要な**正規職員**……190人
- ③ 技能労務職員の人数…美化センター収集体制・人員計画に位置付けられた**正規職員**の人数